



# 見出し眺めて 幅広い情報を

いのうえ新入社員研修

総合葬祭業・いのうえ（倉敷市二日市）で17日、グループの新入社員9人を対象に新聞の研修（全3回）が始



効率的な情報収集などについて学んだ研修

まった。

山陽新聞社の大本哲弥販売局次長兼企画管理部長が講師を務めた。新聞記事については、記者が裏付けを取った後、複数のチェックを通して発信されており信頼性が高いと説明。新型コロナウイルスに関してインターネット上でさまざまなデマが横行したことにも触れ、「すぐに信じて拡散せず、まずは発信元が信頼できるか確認して」と呼び掛けた。

北野紗衣さん（20）＝岡山市北区平野＝は「忙しくても、見出しだけでも目を通して幅広い情報に触れたい」と話した。

山陽新聞社が進めているNIB（ビジネスに新聞を）の一環で、

効率的な新聞の読み方も紹介。記事の概要がまとまった見出しは「究極の要約」とし、「見出しを眺めるだけ」を眺めるだけ（吉川瑠美）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。